

(著作権の関係等により、ホームページ上に掲載することができない資料を一部割愛しております)

令和2年2月3日(月)
令和元年度
大阪府立狭山池博物館運営審議会

参考
資料
1

令和元年度 大阪府立狭山池博物館運営審議会

【参考資料】

令和2年2月3日

目 次

1. 取組み状況の報告

土木の歴史的価値の継承

土木事業・技術の歴史・「知」の交流・発信拠点

地域魅力創造

2. 令和2年度の具体的な取組み

土木の歴史的価値の継承

土木事業・技術の歴史・「知」の交流・発信拠点

地域魅力創造

1. 取組み状況の報告

【土木の歴史的価値の継承】

① 既存施設のさらなる魅力向上

取組み内容	実施状況	成果・効果
【常設展示の改良】	<ul style="list-style-type: none">・子供向けのわかりやすい表現及インバウンドに対応した英語表記によるリーフレットの作成・配布（初版で印刷した700部が1か月半で配布終了）・展示解説の翻訳(英・中・韓)R2年度中に実装予定	<ul style="list-style-type: none">・年々、外国人観光客が増加していることから、サービス向上につながりインバウンドの増加
【HP改良】	<ul style="list-style-type: none">・写真、アイコンを多くし、感覚的に見れるホームページの作成に着手（令和2年度完成予定）・グーグルの翻訳機能を利用した多言語対応・館内のストリートビューを掲載・Osaka Free Wi-fi 整備	<ul style="list-style-type: none">・ホームページの改良による複数言語（英、中、韓）に対応。閲覧者数のアップとそれに伴う来館者数アップが見込める
【学術調査の実施】	<出土木材の年輪年代調査> <ul style="list-style-type: none">・光谷拓実氏による12点の追加調査を実施・2019年10月特別展「樹木年輪と古代の気候変動」を開催	<ul style="list-style-type: none">・6世紀初頭頃の伐採年をもつ古材を検出し、転用材の可能性を含め、今後の課題が提起された・暦年代研究の進展による多様な測定法について、長期・短期の気候変動、湖底に堆積した年縞、洪水痕跡など多方面から紹介
	<狭山池石棺群の調査> <ul style="list-style-type: none">・奥田尚氏による石材・石種についての表面観察、浸食痕・加工痕、石材の流転の分析を実施	<ul style="list-style-type: none">・各石棺や破片の検討に加え、重源狭山池改修碑の石材産地を徳島県と推定。石棺を用いた中樋の構造についても言及
	<池守田中家文書の公開> <ul style="list-style-type: none">・毎年テーマを決めて、博物館学芸員が中心となって池守田中家文書の特別公開を実施している。・2019年6月特別公開「狭山池 幻の池ざらえ」を開催・池守田中家の古文書を学ぶ「狭山池古文書をよむ会」のメンバーが、解説・パネル製作や現地見学会に協力	<ul style="list-style-type: none">・「平成の改修」まで未実施だった狭山池の浚渫を、延享年間(1744-1748)に狭山藩北条氏が実施計画を立て幕府へ申請した。その背景を解明し、大雨による西除の決壊で断念する顛末を紹介
【狭山池古文書講座】	<ul style="list-style-type: none">・「池守田中家文書」の学習の場として・池守田中家文書に親しみ、より多くの文書に触れてもらう体験の場として月3回程度実施・会員の構成はボランティアが3割、近隣、一般の方が7割	<ul style="list-style-type: none">・参加者からは、学び楽しみながら展示に寄与してゆく姿勢がみられ、狭山池や郷土への愛着を育み、人の交流と狭山池のファン増加に寄与している
【ボランティア企画展】	<ul style="list-style-type: none">・ボランティアが中心となり、来館者目線でテーマを決めて2年に1度ボランティア企画展を実施（次回はR2年度）	<ul style="list-style-type: none">・企画展示開催による来館者の増加

1. 取組み状況の報告

【土木の歴史的価値の継承】

① 既存施設のさらなる魅力向上

【常設展示の改良】 【HP改良】



【狭山池古文書講座】



【ボランティア企画展】



【学術調査の実施】

<年輪年代調査>

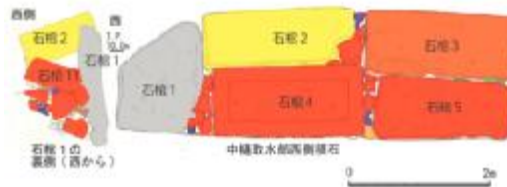
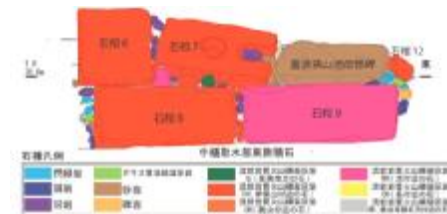


↑ 495年+a年伐採と判明した辺材型の柱根

648年伐採と判明した樹皮型の端材

<石棺群の調査>

第五ゾーン石棺などの石種



<特別展>



<池守田中家文書の公開>
特別公開の新聞記事



2019年6月20日(朝日新聞)

1. 取組み状況の報告

【土木の歴史的価値の継承】

②新たな魅力の創造

取組み内容	実施状況	成果・効果
【史跡ネットワーク】 【ダムネットワーク】	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館と現地（狭山池、狭山池ダム）とを一体化させるため、現地に説明板を設置する。 ・設置にあたっては、市教育委員会など協議、調整が必要となるため、今年度は協議用資料として説明板のデザイン、材質などについて検討 ・令和2年度に関係者との協議及び現地への設置予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地説明板を含む、狭山池から博物館へ誘導するハード・ソフトの仕掛け（案内表示板設置、歩行者ネットワークの整備など）により、新たな来館者の創出が見込める



1. 取組み状況の報告

【土木事業・技術の歴史・「知」の交流・発信拠点】

① 既存施設のさらなる魅力向上

取組み内容	実施状況	成果・効果
【JICA研修】 近畿建設協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・12月3日にJICAの研修生受け入れを実施 ・寝屋川流域総合治水の現場見学と狭山池博物館での座学と館の見学(研修生6人、関係者9人の合計15人参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設を活用し、多様な来館者を創出
【建築物見学会】 生きた建築ミュージアム大阪実行委員会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府内の建築物を対象に見学会や説明会を実施する「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2019」に参加 ・見学会参加人数：4人 	<ul style="list-style-type: none"> ・安藤建築による新たな来館者の創出 ・書店販売されるイベントガイドブックへの記載によるPR効果
【学生への土木魅力紹介】 近畿建設協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象とした、土木技術を発信するイベントの企画についてNPO団体と調整（R2年度実施予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の土木の担い手となりうる小中学生に対して土木事業・土木技術を発信
【土木遺産展】 －関西の橋梁めぐり－ (土木学会関西支部共催)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より春季企画展として毎年開催。 ・関西の橋梁を中心に、近代以降の橋梁構造と技術を図面と写真でわかりやすく展示・解説。技術者の講演会や女性技術者による座談会を開催。 ・会期：平成31年3月16日から令和元年5月12日まで ・来展者数：8,200名 	<ul style="list-style-type: none"> ・土木・建築に携わる技術者や関係者、学生の来館を創出。 ・広域（他府県）からの新たな来館者を創出
【出張・土木遺産展】	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅「はちけんや」（天満橋）、みちまちスクエア（北新地）にて、土木遺産展で使用したパネルを活用して大阪狭山市以外で土木遺産展のPRを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪狭山市以外で開催することにより、狭山池博物館、土木遺産展を広く発信
【震災写真展】	<ul style="list-style-type: none"> ・みちまちスクエア、川の駅「はちけんや」、津波・高潮ステーション（朝潮橋）にて巡回展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・大震災より四半世紀を迎え、感慨を新たにしていたために写真展を開催
【なるほど！狭山池歴史ウォーク】	<ul style="list-style-type: none"> ・1か月に1度程度定期開催(7,8月は休み) ・博物館と狭山池や企画展示とリンクしたウォークイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館と狭山池や企画展示ゆかりの地などを合わせてガイドすることによる更なる魅力を発信

1. 取組み状況の報告

【土木事業・技術の歴史・「知」の交流・発信拠点】

① 既存施設のさらなる魅力向上

【JICA研修】



寝屋川南部地下河川



狭山池博物館

【建築物見学会】



【歴史ウォーク】



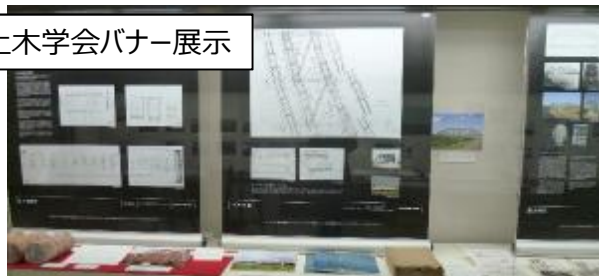
狭山池周辺



ゆかりの地(龍雲寺)

【土木遺産展】

土木学会バナー展示



特別展示(企画展)



出張土木遺産展

【震災写真展】



講演会・座談会

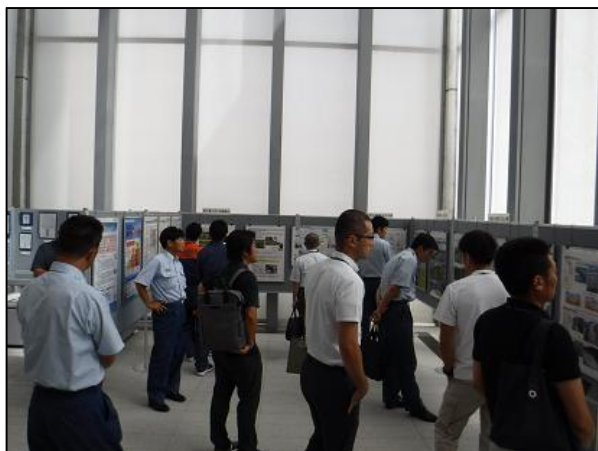
1. 取組み状況の報告

【土木事業・技術の歴史・「知」の交流・発信拠点】

②新たな魅力の創造

取組み内容	実施状況	成果・効果
【防災講座】	<ul style="list-style-type: none">・大阪管区気象台との連携で、気象台職員を講師として招き防災講座を実施。・「一般向け講座」と、大阪狭山市教育委員会と連携し、教職員研修で講座を開催した「教職員向け」を実施	<ul style="list-style-type: none">・どちらの講座も参加者からは好評を得ることができ、次年度以降の継続した開催を望む声もあった・気象台、教育委員会との継続した連携の体制づくりのベースができた
【防災パネル展】	<ul style="list-style-type: none">・近年の南河内地域で発生した災害や防災・減災に対する様々な取組みを紹介。(令和元年9月13日から9月25日)	<ul style="list-style-type: none">・既存施設を活用し、多様な来館者を創出
【小学生向け防災教育】	<ul style="list-style-type: none">・堺市登美丘小学校4年生に防災と治水について実施・堺市八上小学校4年生(約100名)を対象に総合学習「西除川のことを学ぼう」を出前講座として実施	<ul style="list-style-type: none">・狭山池の流域の小学生を対象に防災啓発・八上小学校は後日、狭山池博物館の見学も実施

【防災パネル展】



【防災講座】



【小学校への防災教育】



出前講座



博物館見学



1. 取組み状況の報告

【地域魅力創造】

① 既存施設のさらなる魅力向上

取組み内容	実施状況	成果・効果
【行基イベントの活用】 行基に学ぶ関西再発見の会との連携 (近畿地方整備局、生駒市、木津川市、NPO団体など)	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回の頻度で、行基ゆかりの団体により開催される連絡会に出席 ・イベントにおける相互連携などについても調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体間の情報交換を実施（イベントの周知） ・参加団体の一つであるサンケイトラベルによるインフラツーリズムの企画を実施（ツアーの応募を行ったが、最少催行人数に達せず中止）
【インフラツーリズム】 旅行会社との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラツーリズム企画の際の参考として、定期的に狭山池ダムと狭山池博物館の資料を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供は行っているが、ツアーの開催実績はなし（阪急交通社）
【フレッシュコンサート】	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館ホール等を活用し、府民が気軽に集い楽しめる音楽コンサートや舞台芸術の公演などを開催。 ・「地域とともに歩む博物館づくり」の一環として、博物館の新たな魅力創造や新たな来館者層の開拓に資するとともに、博物館の文化情報発信拠点としての充実を図る ・1回/月程度の頻度で開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なジャンルや年齢層によるコンサートの開催による幅広い年齢層の来館者を創出
【書道展】	<ul style="list-style-type: none"> ・書初め展を実施することで、こどもたちやできるだけ多くの人に、狭山池ダムや狭山池博物館、広くは治水・灌漑に関心を持っていただく。例年1月初旬に募集して、1月末から3月にかけて館内にて展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の文化情報発信拠点として、確立し、全点展示することにより、提出した方々の家族での見学により、入館者増につながっている
【わくわくイベント】	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期から当博物館に親しみを持ち、あらゆる年齢層の人が博物館に親しみを持てるよう、博物館ボランティアがこれまで培ってきた体験、知識を生かし、体験型・参加型催物(ワークショップ)を中心とした「わくわくイベント」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・土木に限らない様々な体験イベントによる多様な来館者の創出 ・大多数での参加はできないものの、人気があり、毎回、抽選で参加者を決めている
【写真展】	<ul style="list-style-type: none"> ・狭山池と狭山池博物館の魅力を知ってもらうための博物館主催の写真展と、狭山池まつり実行委員会主催の「狭山池まつり絵葉書コンテスト」を共同で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展示室の有効活用と多様な来館者を創出

1. 取組み状況の報告

【地域魅力創造】

① 既存施設のさらなる魅力向上

【行基を活用したPR】

近畿地方整備局、生駒市、木津川市、NPO団体などの連携

行基さん
大感謝祭



インフラリズム

【フレッシュコンサート】



【わくわくイベント】



日光カメラ作成

【写真展】



【子ども絵画コンクール】



【書道展】



1. 取組み状況の報告

【地域魅力創造】

② 新たな魅力の創造

取組み内容	実施状況	成果・効果
【狭山池と一体となった地域魅力創造】	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪狭山市において策定を進めている「水とみどりのネットワーク構想」において博物館も一体となったまちづくりを検討 ・大阪狭山市による狭山池南側のアンダーパス整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・構想完成に向け事業推進中 ・狭山池につながる歩行者ネットワークの形成による賑わいの創出
【博物館の効果的なPR】	<ul style="list-style-type: none"> ・第227回狭山池クリーンアクション（主催：狭山池まつり実行委員会）をエフエム大阪とジョイント開催。次年度以降も継続予定 ・著名人による取材及びSNSによる発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンキャンペーンの参加者は500人以上、ラジオでも繰り返しイベントの告知が行われており、絶大なPR効果。 ・Web上での記事掲載と著名人個人のSNSでの発信によるPR効果
【マンホールカードの配布】	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪狭山市上下水道部作成のマンホールカードの配布を狭山池博物館で開始（休日の配布場所） 	

【狭山池と一体となった地域魅力創造】

(次ページ参照)

【マンホールカードの配布】



【博物館の効果的なPR】

取材状況

[著名人による取材状況写真]

[クリーンキャンペーン状況写真]

クリーンキャンペーン

[クリーンキャンペーン状況写真]

1. 取組み状況の報告

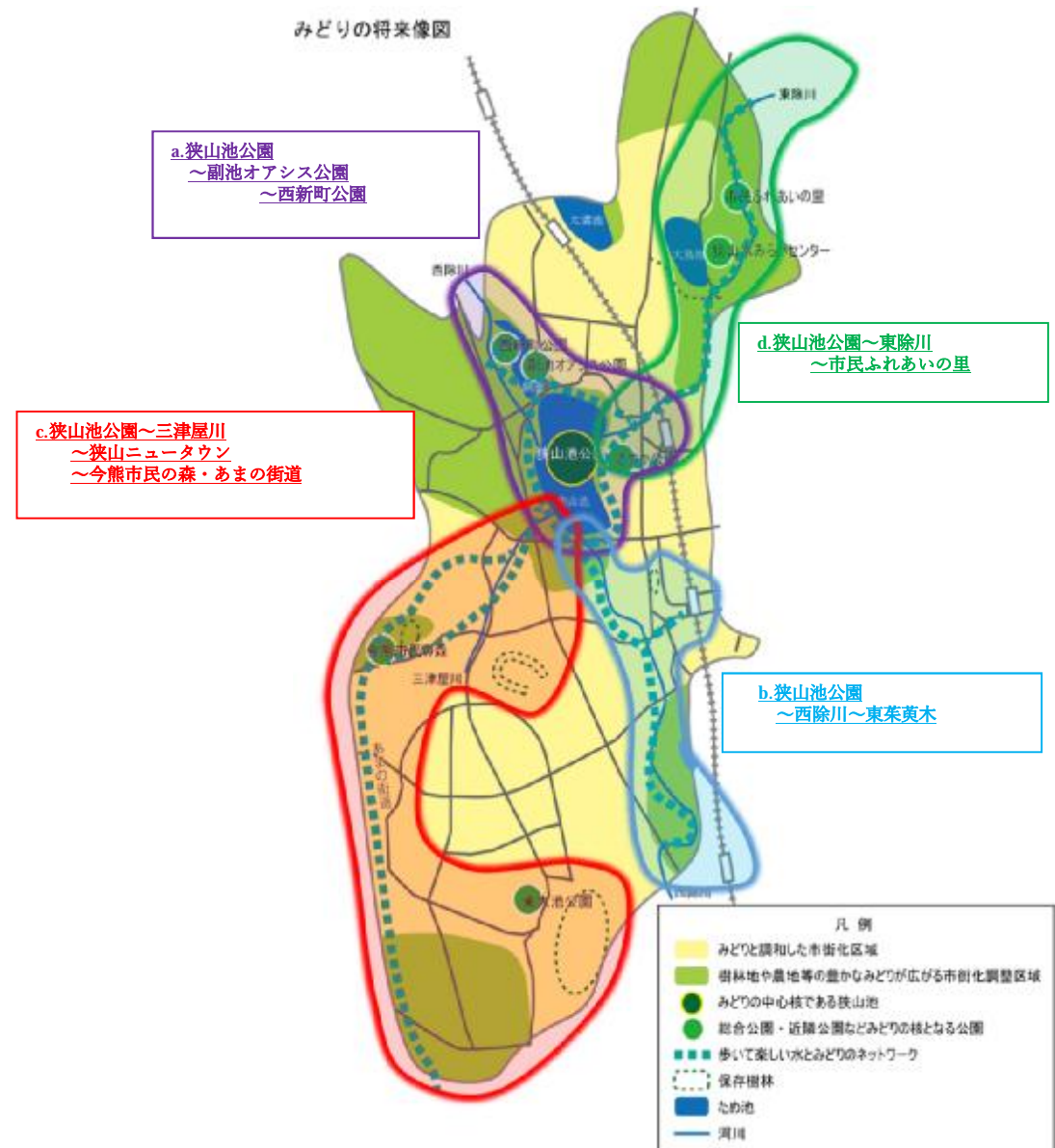
【地域魅力創造】

② 新たな魅力の創造

【大阪狭山市水とみどりのネットワーク構想】

事業の背景と目的

大阪狭山市には、狭山池やあまの街道など、豊かな水とみどりを多数有しています。この強みを活かし、従来の整備や保全維持だけでなく、水やみどりの一体的な空間利用及び官民連携による自由度の高い取り組みを展開することで、市民や来訪者の自己実現の場、交流の場等を提供することができると考えています。平成30年（2018年）3月「大阪狭山市みどりの基本計画」の改訂に伴い、先導的・重点的な取組として、「1. パークマネジメントによる狭山池周辺のにぎわいづくり」及び「2. 水とみどりを活かした歩行者ネットワーク形成」が位置づけられました。狭山池を中心に、周辺エリアの水とみどりのネットワークを形成するとともに、官民連携による種々の取組を実施し、市内外に発信することで、空間の質を向上させると共に、管理等財政上の負担を軽減、持続的な運営体制の構築、都市全体の価値や魅力の向上等の方法を検討しています。



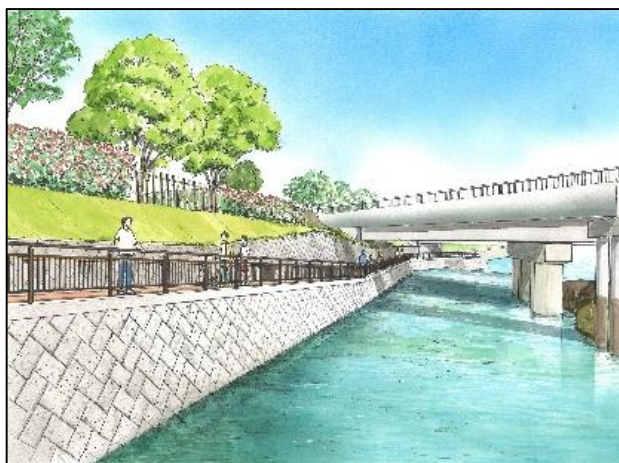
1. 取組み状況の報告

【地域魅力創造】

②新たな魅力の創造

【狭山池～西除川緑道アクセス（狭山池橋下アンダーパス）】

「大阪狭山市みどりの基本計画」(H30.3)において、狭山池を中心とした歩行者ネットワークの形成を位置づけ。現状は狭山池公園の南側入口と西除川緑道の北側入口は、府道森屋狭山線で分断される形状となっているが、狭山池橋下にアンダーパス（歩道）を整備することで狭山池公園周遊路と西除川緑道を接続し、歩行者や自転車利用者の利便性を向上させることで、新たな人の流れを生み出します。



(整備イメージ)



西除川緑道側出入口
(整備イメージ)



狭山池公園側出入口
(整備イメージ)

2. 令和2年度の具体的な取組み

【土木の歴史的価値の継承】

① 既存施設のさらなる魅力向上

取組み内容	詳細	成果・効果
【常設展示の改良】	<ul style="list-style-type: none">リーフレットの増刷、配布展示解説の翻訳(英・中・韓)の完了と、展示物の解説板更新を実施予定	<ul style="list-style-type: none">年々増加する外国人観光客に対するサービス向上につながり、来館者の増加が見込める
【HP改良】	<ul style="list-style-type: none">「画面の大きさによるページ構成自動組み換え」「翻訳機能の活用による多言語化」「QRコードを活用した現地とWebのリンク」など前年度より検討を続けているホームページの完成。更新内容について関係者との調整後、R2年度公開予定	<ul style="list-style-type: none">ホームページの改良による複数言語（英、中、韓）に対応。閲覧者数のアップとそれに伴う来館者数アップが見込める
【狭山池古文書講座】	<ul style="list-style-type: none">次年度メンバーを応募により決定し、「池守田中家文書」の学習の場として月3回程度実施予定	<ul style="list-style-type: none">狭山池に関する知識の向上と、より多くの方への歴史の継承への寄与
【ボランティア企画展】	<ul style="list-style-type: none">ボランティアが中心となり、令和2年度にボランティア企画展を実施予定	<ul style="list-style-type: none">企画展示開催による来館者の増加

② 新たな魅力の創造

取組み内容	詳細	成果・効果
【史跡・ダム説明板の設置】	<ul style="list-style-type: none">今年度検討している説明板のデザイン、仕様での現地設置に当たり、関係者への協議を実施（教育委員会など）協議後、説明板の制作・現地設置を実施予定	<ul style="list-style-type: none">現地説明板を含む、狭山池から博物館へ誘導するハード・ソフトの仕掛け（案内表示板設置、歩行者ネットワークの整備など）により、新たな来館者の創出が見込める
【SNSの活用】	<ul style="list-style-type: none">SNS（Facebook、Twitter、Instagram等）による情報発信の開始	<ul style="list-style-type: none">現在運用しているホームページに加え、情報の拡散性が高く拡散スピードも速いSNSの活用により、新たな来館者の創出が見込める

2. 令和2年度の具体的な取組み

【土木事業・技術の歴史・「知」の交流・発信拠点】

① 既存施設のさらなる魅力向上

取組み内容	詳細	成果・効果
【JICA研修】	・引き続きJICAの研修生受け入れを実施	・既存施設を活用し、多様な来館者を創出
【建築物見学会】	・引き続き「生きた建築ミュージアムフェスティバル」に参加 ・建築士事務所協会との連携により、協会主催の見学会や勉強会を博物館において実施する	・安藤建築という魅力を活用した新たな来館者の創出
【学生への土木魅力紹介】	・NPO団体と連携し、小中学生を対象とした、土木技術を発信するイベント実施予定	・将来の土木の担い手となりうる小中学生に対して土木事業・土木技術を発信
【土木遺産展】	・「トンネル」に焦点をあてた展示を実施予定	・土木・建築に携わる技術者や関係者、学生の来館を創出 ・広域（他府県）からの新たな来館者を創出。

② 新たな魅力の創造

取組み内容	詳細	成果・効果
【防災講座】	・引き続き気象台と連携して、防災講座を実施予定 ・今年度の「一般向け講座」、「教職員向け」に加え「小学生向け」を実施予定	・講座の開催を継続させることにより、防災情報の発信拠点としての博物館を確立させる
【防災パネル展】	・最新の災害・防災情報を取り入れた展示を開催予定	・既存施設を活用し、多様な来館者を創出
【小学生向け防災教育】	・狭山池周辺の過去からの水害などを用いて防災教材を作成し、ダムの受益を受けている下流域の小学校を対象に博物館での講座や出前講座を実施予定	・狭山池流域の小中学生を対象に実施する防災啓発により、防災情報の発信とあわせて狭山池やダムに関する情報を発信する

2. 令和2年度の具体的な取組み

【地域魅力創造】

① 既存施設のさらなる魅力向上

取組み内容	詳細	成果・効果
【行基イベントの活用】	・行基ゆかりの団体により開催される連絡会に参加 ・イベントにおける相互連携などについても調整	・団体間の情報交換を実施（イベントの周知） ・インフラツーリズムなど連携したイベントの実施
【インフラツーリズム】	・インフラツーリズム企画の際の参考として、定期的に狭山池ダムと狭山池博物館の資料を提供	・インフラツーリズムによる来館者の増が見込める
【フレッシュコンサート】	・魅力創造や新たな来館者層の開拓に資するとともに、博物館の文化情報発信拠点としての充実を図る	・多様なジャンルや年齢層によるコンサートの開催による幅広い年齢層の来館者を創出
【書道展】	・誰でも参加できる書道展を通じて、多くの人に狭山池ダムや狭山池博物館、広くは治水・灌漑に関心を持っていただく	・博物館の文化情報発信拠点として、入館者増に寄与する
【わくわくイベント】	・体験型・参加型催物(ワークショップ)を中心とした「わくわくイベント」を実施	・土木に限らない様々な体験イベントによる多様な来館者の創出
【写真展】	・狭山池と狭山池博物館の魅力を知ってもらいもらうための博物館主催の写真展と、狭山池まつり実行委員会主催の「狭山池まつり絵葉書コンテスト」を共同で実施している	・特別展示室の有効活用と多様な来館者を創出
【20周年記念イベント】	【資料本編参照】	

② 新たな魅力の創造

取組み内容	詳細	成果・効果
【狭山池と一体となった地域魅力創造】	・大阪狭山市において策定を進めている「水とみどりのネットワーク全体構想」で、博物館も一体となったまちづくりを検討	・市との連携により、まちづくりと一体となった運営が可能
【博物館の効果的なPR】	・FM OSAKAとのジョイント企画を実施予定	・絶大なPR効果による来館者の増が見込める。
【マンホールカードの配布】	・引き続きマンホールカードを配布	・いままで狭山池に興味がなかったような新たな来館者の創出が見込める